



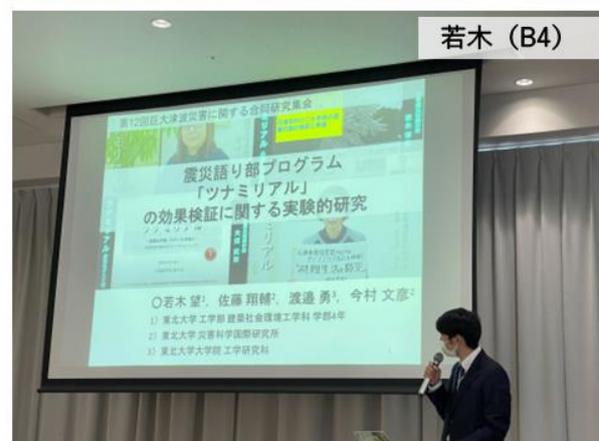
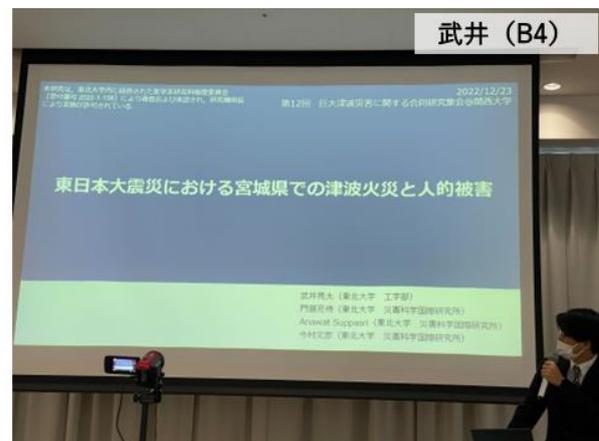
第12回巨大津波に関する合同研究集会に参加しました(2022/12/22-23)

場所：関西大学梅田キャンパス

参加者：門廻充侍助教、清水陽花(B4)、武井亮太(B4)、田中健登(B4)、若木望(B4)

12月22日～23日に、「巨大津波災害に関する合同研究集会」が関西大学梅田キャンパスで開催されました。この研究集会は津波に関する研究に焦点を絞りつつ、工学だけでなく理学まで広い分野の講演および意見交換を行うもので、毎年12月に行われています。本年度は、発表者として清水陽花、武井亮太、田中健登、若木望が参加しました。発表者の講演内容は以下の通りです。

- 清水陽花, 内田典子, Anawat Suppasri, 菅原大助, 今村文彦: 東日本大震災における仙台海岸の植生変化パターンと津波外力の関係
- 武井亮太, 門廻充侍, Anawat Suppasri, 今村文彦: 東日本大震災における宮城県での津波火災と人的被害
- 田中健登, Anawat Suppasri, Kwanchai Pakoksung, Anchi Cheng, 嶋原良典, 今村文彦: 三陸沿岸における2022年トンガ火山性津波による養殖施設被害に関する研究
- 若木望, 佐藤翔輔, 渡邊勇, 今村文彦: 語り部学習プログラム「ツナミリアル」の効果検証に関する実験的研究



(文責：田中)